

令和3年度学校教育アンケートへのご協力ありがとうございました

項目	評価の観点	教職員自己評価	評価 (A・B・C)	保護者	評価 (A・B・C)	地域関係者	評価 (A・B・C)
主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。	A	①子どもは、授業が楽しいと言っている。	B	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。	A
	2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(1・OTの活用含む)	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。	A	②学校は、子ども一人ひとりを理解しようと努めている。		協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。	
	3 主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会	主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	A	③子どもは、家庭学習にきちんと取り組んでいる。		主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施を進めている。	A	④学校では、学習および様々な活動を通して、思いやりの気持ちや社会のルールを守る気持ちなどを育てている。	A	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施を進めている。	A
	5 道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	B	⑤学校では、子どもの発達段階に応じて命の大切さや相手を思いやる心を育てている。		道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	
	6 保護者等への道徳科の授業公開	保護者等への道徳の授業公開を行い、道徳の授業の工夫・改善を進めている。(普段の道徳の授業、道徳授業発信:通信・HPなど)	B			保護者等への道徳の授業公開を行い、道徳の授業の工夫・改善を進めている。	
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。(普段の体育の授業、運動会など)	B		A	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。	A
	8 体力づくりを推進する運動実践	体力づくりを推進する運動等の実践(給食・食育指導なども含む)に取り組んでいる。	B	⑥子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣ができています。		体力づくりを推進する運動等の実践(給食・食育指導なども含む)に取り組んでいる。	
	9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を進めている。	A			体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を進めている。	
指導改善(組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。(長等スタンダード、家庭学習のすすめの配布など)	A		B	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。(長等スタンダード、家庭学習のすすめの配布など)	A
	11 教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。	A	⑦学校は、学習内容を工夫して分かりやすく指導している。		教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。	
	12 働き方改革の取組と教育活動の質の改善	学校全体の予算を有効に活用し、教育活動の質の改善と保護者負担の軽減を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。	B			学校全体の予算を有効に活用し、教育活動の質の改善と保護者負担の軽減を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。	
① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援	保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。(日頃の家庭連絡、相談、教育相談巡回訪問など)	A	⑧学校は、地域や保護者に関わっている。 ⑨子どもは、学校のいろいろなことをよく話す。	A	保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。(日頃の家庭連絡、相談、教育相談巡回訪問など)	B
	14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用を進めている。(PTA活動、読み聞かせボランティア、授業参観、学校ホームページ、学校より、学年・学級通信など)	B	⑩保護者として、学校からの配布物にしっかり目を通している。		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用を進めている。(PTA活動、読み聞かせボランティア、授業参観、学校ホームページ、学校より、学年・学級通信など)	
	15 防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	防災教育の推進と安心・安全な学校づくりを進めている。(避難訓練、緊急時引き渡し訓練など)	A	⑪学校は、児童や家庭のプライバシー保護について努めている。 ⑫学校は、子どもに安全指導を行っている。		防災教育の推進と安心・安全な学校づくりを進めている。(避難訓練、緊急時引き渡し訓練など)	
② 保幼小中の連携	16 子ども校種間交流や教員の出前授業	たてわり活動や、子どもの校種間交流などを行い、連携を進めている。(たてわり活動、運動会、保幼小交流など)	B		B	たてわり活動や、子どもの校種間交流などを行い、連携を進めている。(たてわり活動、運動会、保幼小交流など)	A
	17 校種間の授業公開や合同研修会	校種間の授業公開や合同研修会が実施され、連携を進めている。	A	⑬学校は、幼小中連携の充実に向けて取り組んでいる。		校種間の授業公開や合同研修会が実施され、連携を進めている。	
	18 保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間の連携研究	校種間でカリキュラム研究を進めている。	B			校種間でカリキュラム研究を進めている。	
① 生徒指導体制の充実	19 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の課題の早期発見、日常的な予防指導※	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の課題の早期発見、日常的な予防指導を進めている。	A	⑭学校は、気軽に子どもや保護者の相談に応じてくれる。	A	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の課題の早期発見、日常的な予防指導を進めている。	A
	20 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進を進めている。	A	⑮学校は、学級などで起こったいろいろな問題について親身になって対応している。		生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進を進めている。	
	21 家庭・地域・関係機関との連携による指導	家庭・地域・関係機関との連携による指導を進めている。	A			家庭・地域・関係機関との連携による指導を進めている。	
	22 個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	個別指導計画の作成と活用を進めている。	A			—	
特別支援教育の充実	23 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	組織的・計画的な支援体制を進めている。	A	⑯学校は、特別支援教育の充実に向けて取り組んでいる。	A	組織的・計画的な支援体制を進めている。	A
	24 関係機関と連携した相談体制の充実	関係機関と連携した相談体制の充実を推進している。(教育相談センター・スクールカウンセラーなど)	A			関係機関と連携した相談体制の充実を推進している。(教育相談センター・スクールカウンセラーなど)	
学校満足度	25 児童生徒の学校満足度	児童は、楽しく学校生活を過ごすことができている。	A	⑰子どもは、学校へ行くのを楽しみにしており、生き生きと学校生活を送っている。	A	児童は、楽しく学校生活を過ごすことができている。	A

今年度は、310件の回答を得ることができました(世帯回収率65%)。ご協力ありがとうございました。残念ながら、昨年までと比べると、回答率は低くなっています。大きな原因は、今年度から導入させていただいたFormsによる回答を保護者の皆様にも周知徹底できなかったことだと考えています。3学期になり、欠席連絡や健康確認を同じようにFormsで行っていますので、少しずつ抵抗感はなくなってきたのではないかと考えています。来年度は回答率が上がるものと考えています。

評価結果ですが、保護者アンケートは、昨年と比べると、平均値で昨年比-0.04点、15項目(2項目は今年度から)中4項目で昨年より評価が上がりました。評価としては、1項目を除いた16項目で3点以上(4点満点)と肯定的な評価をいただいています。なかでも、「保護者として、学校からの配布物にしっかり目を通している。」や「学校は、児童や家庭のプライバシー保護について努めている。」の項目は、大変高い評価をいただくことができました。GIGAスクール構想を推進しようとしている状況でこの評価はうれしく思います。

反面、「学校は、地域や保護者に関わっている。」の項目は、他の項目と比べて低い結果となりました。コロナ禍でいろいろなことに自粛を余儀なくされる現状があったとはいえ、もっと何らかの工夫ができていたのではないかと保護者の皆様のお声だと受け止めています。学校運営協議会やPTA本部役員会等で学校の取組をしっかりと説明しつつ、意見を伺いながら改善を進めていきたいと考えています。

子どもたちからの評価は、昨年と比べると、平均値で昨年比-0.07点で、昨年とほぼ同様の結果が見られました。「学校が楽しい」の項目は3.64点と9割を超えています。学年ごとに多少のばらつきが見られるのとあまり楽しくないと回答している児童がいることも事実ですので、より一人ひとりに寄り添った教育活動を進めていき、今後も高水準を維持していきたいと考えています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施されていたいろいろな行事を、やむなく縮小実施したり、中止にしたりさせていただきましたが、全体を通して肯定的な評価をいただくことができました。来年度は、今年度の経験を生かし、実施できることを増やせるよう、指導体制の充実を図り、保護者の皆様や地域の皆様と連携しながら、信頼できる学校づくりに取り組んでいきます。

さらに、来年度は三者評価を実施することができるよう児童アンケートの工夫を図っていきたく考えています。三者評価を実施することで、「三方よし」となっていくかどうかを確認し、三者の価値観の共有ができるよう教育活動を進めていきたいと考えています。来年度も引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。